

スポーツ合宿等の共同誘致・開催に
向けた需要調査事業
報告書

平成30年3月

株式会社よかネット

目 次

1. 調査の目的.....	1
2. スポーツ施設のデータ整理.....	2
3. 施設管理担当課ヒアリング調査.....	6
(1) 玉名市.....	6
(2) 和水町.....	8
(3) 玉東町.....	11
(4) ヒアリングのまとめ.....	13
4. スポーツ合宿の受け入れ環境分析.....	14
(1) 宿泊施設.....	14
(2) 交通アクセス.....	15
(3) 各施設の稼働状況.....	15
5. スポーツ合宿関連企業・団体ヒアリング調査.....	16
(1) 大学生部活・サークル合宿誘致.....	16
(2) グラウンド・ゴルフ合宿誘致.....	19
6. スポーツ合宿誘致先進事例調査.....	21
(1) 鹿児島県の状況.....	21
(2) 宮崎県の状況.....	24
(3) 熊本県内の状況.....	28
7. 考察.....	30
(1) 玉名定住自立圏の優位性について.....	30
(2) 基盤整備について.....	30
(3) 受け入れ体制について.....	31
(4) 主要スポーツの合宿誘致に向けて.....	31
(5) その他スポーツの合宿誘致に向けて.....	33

1. 調査の目的

本調査は、玉名圏域定住自立圏共生ビジョンに掲げる「スポーツ合宿等の共同誘致（玉名市、和水町、玉東町）」に向けて、合宿誘致のターゲットに定める種目や団体などを決定するための需要を把握することを目的とする。

本調査結果は、玉名圏域の立地や施設に適した種目や団体にターゲットを絞り、効果的なプロモーション活動を展開するための基礎資料とする。

【玉名圏域定住自立圏共生ビジョンでの位置づけ】

2-4 観光等の推進

取組項目	②スポーツ合宿等の共同誘致・開催
協定書の 内容	圏外の趣味の範囲でスポーツ等競技を行う団体の合宿等の受け入れ環境整備及び誘致活動を行う。
事業名	【番号 2-4-②-1】 スポーツ合宿等の共同誘致・開催
事業概要	圏域外のスポーツ等競技を行う高校の部活や大学のサークルなどの団体の合宿等に関し、受け入れ環境整備及び誘致活動を行う。

2. スポーツ施設のデータ整理

玉名市、和水町、玉東町におけるスポーツ施設の状況を把握するために、各施設のデータ整理を行った。

3市町内には、現在38のスポーツ施設がある。その内訳をみると、バレーボールやバスケットボールなどの屋内競技を行う施設が10施設、野球やソフトボール、陸上など屋外競技を行う施設が9施設、テニスを行うテニスコートが5施設、武道場が3施設、弓道場が2施設、ゲートボールやグラウンド・ゴルフ場が6施設、その他が3施設となっている。

各施設の位置は、下図のとおりである。多くの施設が玉名市に立地しており、各施設とも新玉名駅から約10km圏内にある。

【スポーツ施設位置図】



各施設の施設面積、可能競技、年間利用者数などは、下表のとおりである。

【各施設の概要】

①屋内競技施設

市町名	供用開始	管内スポーツ施設名	施設面積(m ²)	可能競技	コートの数(使用可能)	平成28年度年間利用者数
玉名市	H10	玉名市 桃田運動公園 総合体育館 メインアリーナ	1814.4	ハンドボール	1面	43,248
				テニスコート	ない	
				バスケットボール	2面	
				バレーボール	3面	
				バドミントン	10面	
				卓球	—	
玉名市	H10	玉名市 桃田運動公園 総合体育館 サブアリーナ	1080	バスケットボール	2面	
				バレーボール	2面	
				バドミントン	6面	
				卓球	—	
玉名市	H28	玉名市 横島体育館	1416.81	バスケットボール	2面	37,948
				バレーボール	2面	
				バドミントン	6面	
				卓球	—	
玉名市	S57	玉名市 天水体育館	1F(駐車場) 2473.60	バスケットボール	1面	6,297
			2F(競技場) 2250.20	バレーボール	2面	
				バドミントン	6面	
				卓球	4台	
玉名市	S62	玉名勤労者 体育センター	1080	バスケットボール	1面	26,148
				バレーボール	2面	
				バドミントン	4面	
				卓球	—	
玉名市	S60	玉名市 岱明 B&G 海洋センター	726.15	バスケットボール	1面	41,222
				バレーボール	2面	
				バドミントン	4面	
				武道場	—	
				卓球	—	
和水町	S62	和水町体育館	3,186	バドミントン	8面	20,579
				ビーチボールバレー	2面	
				バレーボール	2面	
				バスケットボール	2面	
和水町	H12	和水町 スカイドーム 2000	3,329	バドミントン	8面	15,321
				ビーチボールバレー	2面	
				バレーボール	2面	
				バスケットボール	2面	
				ハンドボール	1面	
和水町	H7	和水町 ふれあい会館	1,114	バレーボール	1面	6,522
				バドミントン	4面	
				武道、卓球、四半的	—	
玉東町	S61	玉東町民体育館	1,497	バレーボールなど	—	18,000
				バドミントンコート	1面	

②屋外競技施設・テニスコート

市町名	供用開始	管内スポーツ施設名	施設面積(m ²)	可能競技	コートの数(使用可能)	平成28年度年間利用者数
玉名市	S61	玉名市 桃田運動公園 野球場	17300	野球	1面	31,359
玉名市	S48	玉名市 蛇ヶ谷公園 野球場	12000	野球	1面	2,385
玉名市	S62	玉名市 桃田運動公園 運動広場(金栗 記念広場)	20700	ソフトボール	2面	31,735
玉名市	S44	玉名市 岱明中央公園 グラウンド	15157	野球、ソフトボール	1面	31,592
玉名市	—	玉名市 横島グラウンド	10400	野球、ソフトボール	計2面	25,874
玉名市	H21	玉名市 天水グラウンド	7385	野球、ソフトボール	1面	12,961
和水町	S52	和水町 総合グラウンド	—	陸上、野球、ソフトボ ール	1面	7,000
和水町	S53	和水町 三加和グラウンド	—	陸上、野球、ソフトボ ール	3面	3,500
玉東町	S50 頃	玉東町 町営グラウンド	10,305	野球など	—	20,000
玉名市	H4	玉名市 蛇ヶ谷公園 テニスコート	15000	テニス	8面	28,884
玉名市	H2	玉名市 岱明中央公園 テニスコート	1340	テニス	2面	8,973
玉名市	S58	玉名市 天水テニスコート	1836	テニス	3面	4,938
和水町	H12	和水町 テニスコート	—	テニス(硬式・軟式)	4コート	2,720
玉東町	S60 頃	玉東町 テニスコート	1,340	テニスなど	2面	1,000

③武道場（館）・弓道場・グラウンド・ゴルフ場（ゲートボール場）ほか

市町名	供用開始	管内スポーツ施設名	施設面積(m ²)	可能競技	コートの数(使用可能)	平成28年度年間利用者数
玉名市	H4	玉名市武道館	1499.19	剣道場 柔道場	1F 2F	24,156
玉名市	S57	玉名市天水体育館 武道場	3F(武道場) 1010.90	剣道場 柔道場	— —	玉名市天水体育館に含む
玉東町	H1	玉東町武道館	597	柔道・剣道・空手など	—	5,000
玉名市	S63	玉名市弓道場	241.88	弓道場	6人立	5,434
和水町	S62	和水町弓道場	—	弓道	—	130
玉名市	H3	蛇ヶ谷ゲートボール場	2500	ゲートボール グラウンド・ゴルフ	4面 8コース	1,238
玉名市	H6.	滑石ゲートボール場	8500	ゲートボール	17面	不明
玉名市	H11.	伊倉運動広場	3854.63	ゲートボール	—	不明
玉名市	H21	下小田運動広場	2190	グラウンド・ゴルフ	—	不明
玉名市	H13.	南出運動広場	2407.1	グラウンド・ゴルフ	—	不明
玉東町	H11	玉東町ふれあいの丘グラウンド	680	グラウンド・ゴルフなど	—	560
玉名市	S58.7.10	玉名市天水相撲場	477.22	相撲	—	210
玉名市	S57.1.30	鶴の河原運動広場	18534.11	少年野球	1面	不明
玉名市	H1.7.1	玉名市桃田運動公園 市民プール	7600	50m プール 25m プール 幼児プール 幼児スライダー アトラクションスライダー	各1つ	11,761

3. 施設管理担当課ヒアリング調査

地元で盛んなスポーツや各施設の利用状況、スポーツ合宿受け入れに向けた希望などを把握するため、3市町の施設管理担当課へヒアリングを行った。

(1) 玉名市

①ヒアリング対象

- ・玉名市ふるさとセールス課

②地元で盛んなスポーツ

- ・グラウンド・ゴルフは面白い。草枕温泉天水は毎月大会を開催しており、県北地域で盛んなスポーツのひとつ。
- ・和水町のテニスコートはコストパフォーマンスが良く、利用者が多い施設で評判。
- ・玉名工業のレスリング部は強豪で、他校から合宿に来ている。鍋松原海岸の潮湯で合宿している。

③合宿候補種目

- ・グラウンド・ゴルフは有望。和水町での長距離走の合宿も良いかもしれない。
- ・ラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権、東京オリンピックのキャンプなど、大規模な合宿誘致は、受け入れキャパシティや施設のハード面を考えると難しいのではないかと。

④誘致希望者

- ・体験観光のような敷居の低いものからや本格的なスポーツの合宿まで、どちらも呼び込みたいが、温泉や歴史、自然などの観光とセットになった、ゆるい合宿の方が有望。
- ・グラウンド・ゴルフは高齢者が中心。福岡市、熊本市内のグラウンド・ゴルフ希望者を呼び込みたい。
- ・福岡都市圏や首都圏、関西圏の大学のサークルを呼びたい。その可能性を調査してほしい。

⑤定員・キャパシティ

- ・3市町で対象となるスポーツ施設は38件あり、合宿を受け入れ可能な施設が5件ある。
- ・合宿を受け入れ可能な施設は、玉名市潮湯、菊水カヌー館、肥後民家村、三加和温泉ふるさと交流センター、THE スナフキンズ。
- ・桃田運動公園は生涯学習課、横島体育館は横島支所が管理している。

⑥定住自立圏での取組・課題

- ・3市町を観光してもらい、スポーツを楽しんでもらいながら、ゆくゆくは定住へという考え方。
- ・グラウンド・ゴルフの大会やイベント、合宿を、和水町や玉東町と持ち回りで開催できると面白い。

⑦誘客に向けた取組

- ・鹿児島自治体が出し合い、博多駅筑紫口のホテルでサークルの誘致活動をしている。そこにサークルに強い「ヤングリゾート」さんが場をセッティングしている。こうした事例は参考になるので、ヒアリングを行ってはどうか。

⑧その他

- ・調査結果は定住自立圏の観光分科会に報告する。分科会の開催時期は未定。

(2) 和水町

① ヒアリング対象

- ・ 和水町商工観光課、教育委員会

② 地元で盛んなスポーツ

屋外競技：ペタンク・野球・ソフトボール・陸上競技・テニス

屋内競技：バレーボール・ハンドボール・バドミントン・バスケットボール

ビーチボールバレー

(ペタンク)

- ・ フランス発祥のペタンクが盛ん。1999年に熊本国体があり、デモンストレーション競技として旧三加和町が取り組んだ。高齢者から子供まで遊ぶできる。町内は、高齢者の愛好者が多い。
- ・ 旧三加和町では盛り上がっているが、旧菊水町ではそうでもない。
- ・ 町のペタンク協会があり、230名が会員となっている。
- ・ ナイターで取り組んでいる地区もある。レベルも高く、日本ペタンク・ブール連盟のランキング38位の町民がいる。
- ・ ランキングは、優勝するとポイントが加算されるというもので、ダブルスの大会が町であった時は、ランキング1位、2位の選手を呼んだ。

(グラウンド・ゴルフ)

- ・ グラウンド・ゴルフは毎日されている。根強い人気がある。

(バドミントン)

- ・ 再春館製薬所属で、和水町出身の広田彩花選手が世界選手権に出場し、銀メダルを獲得した。
- ・ バドミンントンの大会が毎月のように開催されている。施設としては古いですが、高速IC近くにあるため、アクセスは良い。

(ハンドボール)

- ・ スカイドーム2000はハンドボールコートが広さが足りない。
- ・ 熊本、八代、山鹿がメイン会場で、その近隣の練習場がないため和水町の体育館が使われる。

(その他)

- ・ グラウンドは、野球、ソフトボールも小中学校の利用が多い。
- ・ 陸上競技は主に長距離が盛ん。金栗さんの影響もあると思う。
- ・ 片道6kmの山越えルートが金栗ロードになる。裏の山がトレイルランの会場にできる。
- ・ テニスコートが整備されているので、練習会が毎週のように開催されている。

③ 合宿候補種目

グラウンド： ペタンク・野球・ソフトボール・陸上競技・テニス

体育館： バレーボール・ハンドボール・バドミントン・バスケットボール・吹奏楽部

- ・ 昨年7月、中学生のバレーボール合宿で、スカイドームなど3施設に県内外から10数チームが来た。肥後民家村やカヌー館、温泉センター等に泊ってもらった。災害で他市町の施設が使えないということだった。選手だけで300~400人、保護者も含めると500人以上は来ていた。

- ・九州ルーテル学院大学と町とが包括連携協定を結んでいる関係もあり、中学校側の窓口がルーテル学院であったので、使用料・電気代など 10 万円近くを免除している。代わりに、昼の弁当を町内業者に発注してもらうようお願いした。
- ・移動は、それぞれマイクロバスを使っていた。宿泊は、保護者は泊らず帰った。選手達は、食事なしで 1 泊 2000～3000 円とした。
- ・廃校になった体育館が 3 つあるのが強みだが、メンテナンスが出来ていないこともあり、普段は使わせないようにしている。
- ・吹奏楽部が体育館を練習場として合宿したことがあった。

④誘致希望者

- ・福岡及び熊本からの人。菊水インターのバス停から、体育館、グラウンドまでは歩いて行ける。

⑤定員・キャパシティ

(定員)

- ・町体育館（バレーボール②・バスケットボール②）
- ・ふれあい会館（バドミントン④）
- ・スカイドーム（バレーボール②・バスケットボール②）
- ・町グラウンド（野球：未定①・陸上 300m・サッカー①）
- ・三加和グラウンド（野球①・陸上 300m・サッカー①）

(稼働状況)

- ・町体育館（H 28：21,000 名）
 - ・スカイドーム（H 28：6,000 名）
 - ・町グラウンド（H 28：7,000 名）
 - ・三加和グラウンド（H 28：3,500 名）
- ・体育館やコートは平日の昼間はほぼ利用されていないが、夕方から夜の稼働率が高い。また、週末はフル稼働。
 - ・町グラウンドは、グラウンド・ゴルフで毎日利用されている。平日はフル稼働の状態である。週末は野球で利用されている。
 - ・みかわグラウンドはペタンクやサッカーが週に数回利用されている。30 年前にソフトボールブームがあった時に、ナイター設備を整備した。今も使える。
 - ・各施設の維持費だけで年間 2000～3000 万円かかっているため、平日昼間の稼働率を上げる必要がある。
 - ・平日昼間となると、高齢者がターゲットとなるが、デイサービスに行く人が多い。ネックは、交通手段の確保である。まちづくり課が相乗りタクシーを走らせている。病院、温泉、道の駅、きくやなどの買い物施設を結んでいる。4 人乗りのタクシーが基本だが、ワンボックスもある。旧三加和、旧菊水の 2 路線がある。相乗りタクシーが体育館等を結んでくれると変わってくる。

⑥定住自立圏での取組・課題

- ・ 体育館、グラウンドの施設は整備されているが、町内にホテルは1カ所（ビジネスホテル）のみ。その他、簡易宿泊所、肥後民家村（60名）、和水町カヌーキャンプ（52名）、あいあい館（21名）、スナフキンズ（6名）があり、連携していくことが可能である。
- ・ 今後民泊事業者の参入も数者見込まれる。

⑦誘客に向けた取組

- ・ 金栗さんの生家を活用したミュージアムを予定している。大河ドラマ館は玉名市でNHKが建てる予定である。
- ・ 金栗さんは大福と豚肉を好んでいた。何かに活かさないかと思っている。
- ・ 菊池川で屋形船が出来ないかという話がある。山鹿市では、以前あったとのこと。
- ・ ロマン館でのカヌー、キャンプはいい。江田船山古墳での歴史の勉強と合わせた教育旅行が考えられないか。
- ・ 菊水IC側の「きくすいの里」が団体観光の昼食を受け入れている。美味しいと評判である。
- ・ 現在、町による合宿支援メニューはない。
- ・ 大学のサークルが合宿をする（した）という話は聞いていない。

⑧その他

- ・ 金栗さんの取材が20倍になっている。
- ・ 民泊は住んでいないといけない。住んでいないと旅館業法に抵触する。
- ・ 九州看護福祉大学、県立大学と提携している。南関町は九州看護福祉大学生を、イベントの際のボランティアスタッフとして活用するなど、うまく連携している。

(3) 玉東町

①ヒアリング対象

- ・産業振興課兼農業委員会事務局、教育委員会

②地元で盛んなスポーツ

- ・グラウンド・ゴルフ、ビーチボールバレーは盛ん。グラウンド・ゴルフは高齢者、ビーチボールバレーは幅広い年齢層がプレーしている。
- ・グラウンド・ゴルフは、全国的にゲートボールからシフトした。
- ・ビーチボールバレーは、大きめの柔らかいボールでやる競技で、協会がある。
- ・小学生は剣道が盛ん、バドミントンも強い。
- ・剣道は、小中学生を対象とした西南之役慰霊祭剣道大会が毎年開催されている。今年で47回目である。競技者が町外1,000人規模で来る。親御さんを含めると、2,000人規模の大会である。熊本県内からの参加者が多いが、福岡など九州一円からも来ている。
- ・大会は1日限り。その日に合わせて、地元の食材等を売るマルシェを開く。
- ・玉名市では企業がビーチボールバレー大会を開催している。
- ・町としてプッシュしている競技はない。自然と盛り上がっている。

③合宿候補種目

- ・グラウンド・ゴルフ、ビーチボールバレーで合宿があるかどうかは分からない。
- ・地区ごとにチームを作って活動している。剣道は小学校単位の社会体育として、中学校は部活動がある。剣道は昔から強い。
- ・玉名市の大会にチームで出ている。地区別、若者が組織するなど。
- ・テニスは利用料金が安く、町外からも来られる。

④誘致希望者

- ・スポーツ目線では誘致の議論をしたことはない。どこから誘致をしたいという話もしたことはない。
- ・他の市町から使わせてくれという話はあった。熊本地震の時に益城町の施設が使えないということで、利用されていた。それ以外では、他市町からの利用者はあまり聞かない。
- ・施設関係も、小さな町なのでスポーツ施設は体育館と町営グラウンド（野球場）、テニスコートくらいである。なお、テニスコートは、他市町と比べて使用料が安いので、町外からの利用者がある。
- ・玉名市がメインとなって大会等を誘致し、その際、玉名市内の施設が溢れたという場合に協力するというスタンスである。玉東町がメインとなって誘致等を行うことは、施設のキャパシティ、宿泊の関係等からもできない。
- ・町内には宿泊してスポーツができる施設はない。

⑤定員・キャパシティ

- ・利用状況は、どの施設も町民、町内の団体がまんべんなく使っている状況である。稼働率は通年で高く、他の地域から入ってくるのは難しい。
- ・体育館はビーチボールバレーで使われている。
- ・グラウンドは平日・休日とも使われている。体育館は、平日昼間は空いている。

⑥定住自立圏での取組・課題

- ・スポーツ誘致のHPについては、掲載はOK だと思う。
- ・合宿誘致の補助はない。
- ・現時点で、町内にお金を落とすところがない。
- ・玉名市などで誘致して、そのときにどこも施設が使えなければ対応は可能。こちらが主になって誘致をするのは難しい。

⑦誘客に向けた取組

- ・木葉駅前に観光や物産の拠点ができる予定で、来年度完成予定である。
- ・スポーツイベントは特にはない。
- ・フットパスのコースを現在設定中である。
- ・ハニーローザ（スモモ）収穫祭は、300 人の定員に対して 500 人の申し込みがある人気のイベント。17 戸の農家で栽培している。
- ・みかんは山北ミカン。山北スイカも植木よりも美味しい。
- ・熊本と玉名の間。車や電車で一本で行ける。

⑧その他

- ・町内の各施設は町が管理している。
- ・ふれあいの丘は、ゲートボール専用である。
- ・体育館は耐震改修と同時に照明を LED 化した。

(4) ヒアリングのまとめ

3市町のヒアリング結果について①盛んなスポーツ、②合宿候補種目、③誘致希望者、④定員・キャパシティ、⑤定住自立圏での取組・課題の5点からまとめると、以下の通りである。

①盛んなスポーツ

- ・3市町で共通して盛んなスポーツとしては、グラウンド・ゴルフ、テニス、バドミントン、ビーチボールバレーが挙げられる。
- ・特徴的なスポーツとしては、玉名市ではレスリング、和水町ではペタンク、玉東町では剣道などがある。

②合宿候補種目

- ・3市町で共通して盛んなスポーツであるグラウンド・ゴルフ、テニス、バドミントン、ビーチボールバレーが考えられる。
- ・なお、玉名市ではレスリングについて高校の合宿を、和水町ではバレーボールについて中学生の合宿を受け入れた実績がある。

③誘致希望者

- ・福岡都市圏並びに熊本都市圏が想定される。
- ・グラウンド・ゴルフについては高齢者が主たる対象、テニスやビーチボールバレーは幅広い年齢層が期待できる。

④定員・キャパシティ

- ・和水町の体育館やコートは、平日の施設稼働率が低く、休日は高い状況にある。町グラウンドは、グラウンド・ゴルフで平日はフル稼働の状態、休日は野球で利用されている。
- ・玉東町については、各施設とも稼働率が高く、外からの受け入れが難しい状況にある。
- ・玉名市は市内に複数施設を有していることから、比較的受け入れの余裕があると推測できる。

⑤定住自立圏での取組・課題

- ・合宿受け入れ可能な宿泊施設の数及び規模が小さい。玉名市内のホテルや民泊を活用していくことが考えられる。
- ・宿泊施設の規模、スポーツ施設の規模から玉名市あるいは和水町が主となり誘致をし、不足する場合に、玉東町で受け入れるという体制が考えられる。

4. スポーツ合宿の受け入れ環境分析

3 市町のスポーツ合宿の受け入れ環境がどのような状況にあるかについて、①宿泊施設、②交通アクセス、③各施設の稼働状況の3点から分析を行った。

(1) 宿泊施設

定住自立圏内において、スポーツ合宿の受け入れが可能な宿泊施設は以下の通りである。

玉名市内に1か所、和水町内に4か所の計5か所で最大収容人数は50人程度となっている。なお、玉東町には宿泊施設はない。宿泊料金は2,000円台から最大で10,000円となっているが、食事や入浴は別料金というところが多い。

現状、50人以下の少数の団体、サークルであれば受け入れ可能であるが、それ以上の人数となると玉名市内の各旅館・ホテル（玉名温泉旅館協同組合加盟施設1,020名、ビジネスホテル（24室）、旅館（9室）、合計1,100人強）等で受け入れる必要がある。なお、和水町では、中学生のバレーボール合宿にあたって、肥後民家村やカヌー館、温泉センターほか、町の施設を活用して300～400人の宿泊を受け入れている。

市町名	合宿受け入れ可能な宿泊施設名	施設住所	受け入れ可能人数	部屋数	宿泊料金	備考
玉名市	潮湯	玉名市岱明町鍋 3188	最大50人	10人部屋(22畳)2室 15人部屋(27畳)2室	1,700円	食事別
和水町	菊水カヌー館【簡易宿泊】	和水町江田 455	52人		大人(高校生以上) 3,240円 5歳から中学生まで 2,160円	食事・入浴別
	肥後民家村【簡易宿泊】	和水町江田 302	30人(各棟最大15人)	2棟	1棟4人まで10,000円 追加1人につき2,000円	自炊可、入浴別
	三加和温泉ふるさと交流センター あいあい館【簡易宿泊】	和水町大田黒 789	21人	3人部屋(6畳)2室 5人部屋(8畳)3室	2,160円～	温泉入浴料込
	THE スナフキンズ【民間ドミトリー(相部屋)】	和水町中十町 459	7人	女性ドミトリー8畳(定員3人) 男性ドミトリー8畳(定員4人)	3,000円	

(2) 交通アクセス

定住自立圏内には、高速道路 IC として菊水 IC がある。鉄道は九州新幹線の新玉名駅、JR 鹿児島線の大野下駅、玉名駅、肥後伊倉駅（以上、玉名市）、木葉駅（以上、玉東町）がある。また、九州産交ホールディングス株式会社が運行する路線バスが玉名市、和水町、玉東町をそれぞれ結んでいる。

福岡市内から玉名市内までは車で高速道路を通過して約 1 時間半、新幹線で博多駅から新玉名駅まで約 40 分、熊本市内から玉名市内までは車で国道 208 号を通過して約 40 分、JR 鹿児島線で熊本駅から玉名駅まで約 30 分（新幹線の場合は、新玉名駅まで約 10 分）のアクセスとなっている。福岡市及び熊本市という九州を代表する都市から 1 時間半以内で通える良好な環境にある。

(3) 各施設の稼働状況

定住自立圏内にはスポーツ施設が 38 施設ある。各市町へのヒアリング結果から、和水町については、平日の施設稼働率が低く、休日は高い状況にあること、玉東町については、各施設とも稼働率が高く、外からの受け入れが難しい状況にあること、玉名市は市内に類似する施設を複数有していることから、比較的受け入れの余裕があると推測できる。

いずれにせよ、稼働率の低い平日に合宿を受け入れることが出来れば、施設の効率的、効果的な運営にも寄与することになる。

5. スポーツ合宿関連企業・団体ヒアリング調査

(1) 大学生部活・サークル合宿誘致

九州におけるスポーツ合宿市場の動向、誘致する際のポイント、玉名圏域定住自立圏での誘致の可能性などを把握するため、鹿児島県や宮崎県などで合宿誘致の実績を有し、積極的に行っている株式会社ヤングリゾートにヒアリングを行った。

①ヒアリング対象

- ・(株)ヤングリゾート福岡支店

②ヤングリゾートの事業について

- ・通常、旅行代理店から営業先の学校の部・サークルの幹事に話しかけ、相談に乗りながらツアーを作っていく。合宿のコーディネートはほぼ全てヤングリゾートが行う。
- ・合宿の幹事は代替わりしていくが、営業担当が部・サークルの顧客リストを管理しており、幹事とコミュニケーションを取りながら、代替わりしたら次の幹事につないでもらっている。
- ・福岡支店の営業エリアは広島から九州まで。鹿児島、長崎も管轄。
- ・中学・高校の合宿は扱っていない。
- ・基本的な業務は合宿を受け入れ可能なホテルの仕入れ。合宿を受け入れ可能で、価格が安く、学生が喜ぶ綺麗なホテルを2年ほど先までほぼ全て抑えており、JTBのような大手であってもすぐには参入できない。8月、9月は体育館とテニスコートとホテルをセットで抑えている。
- ・競合では(株)ネオ倶楽部が老舗。オアシスという旅行部門がある。
- ・対象となるスポーツは全般だが、特にテニスと体育館系に強い。もともと大阪本社がテニスをメインで取り扱っていた経緯がある。陸上系は弱い。
- ・鹿児島県が主催するスポーツ合宿セミナーを博多駅近辺のホテルで開催しており、ヤングリゾートが学生を集めているが、こうしたセミナーは年に1回程度。

③大学生の部活・サークルの一般的なスタイル

- ・大学生の部活やサークルの合宿は中学校や高校の合宿とは異なり、ある程度のホテルでなければ選べない。
- ・ホテルであれば1泊2食で7,000円が相場。昼は弁当を買っている。
- ・旅館であれば貸し切りができて、7,000円以下でなければ見向きもされない。
- ・部活の場合は遠征が多いのでビジネスホテルに素泊まりするケースもある。
- ・合宿が多い時期は、8月、9月、2月、3月。
- ・平均的には、30～50人の規模。大型バス1台で動ける。
- ・サークルや部活はバスを持っていないところが多いが、強豪校は自前のバスを持っている。
- ・強豪校は合宿地を固定していることが多く、そうでもないところは新しい施設に行く。
- ・合宿は基本的に平日が多い。九大は院生が平日は忙しいので土日を絡めたがる。しかし土日にスポーツ施設を全面確保するのは難しい。
- ・大体、2年先まで合宿先を決めている。サークルは最終日に観光を入れるニーズが強いが、観

光が入る場合は毎年行き先の県を変える。しかも学生生活 4 年間で同じ県には行かない。観光をしないサークルは同じ施設にリピートする傾向が強い。

- ・九州の大学のサークルは観光を組み合わせるケースが 9 割。関西では 2 割ほどで、九州ならではの傾向。
- ・サークルはお酒を結構飲むので地元にお金を落とす。地域への経済波及効果は大きい。コンビニやスーパーにもよく行く。
- ・各地域のサークルには連盟があり、例えば九大、西南大、福大などの大学が加盟しており、夏休みなどに定期的に大会を開催している。そのため、合宿に大会の要素は求めない。各大学が個別に合宿を組む。

④ホテルに求められる要素

- ・リゾートホテルが採算度外視で稼働率を上げるために合宿を呼び込んでいる。
- ・ホテルは分泊ではなく、1 つのホテルに 1 つのサークルを収容するのが基本。100 人いたら 100 人入るホテルが必要。
- ・ホテルから運動施設まで、ホテル側の無料送迎があると喜ばれる。
- ・サークルの場合、打ち上げがあることが多く、朝まで騒げる施設を選択する。これを許すホテルを探すのが難しい。ホテルに飛び込みで電話しても、朝まで飲み会が可能かどうかで断られるケースが多い。
- ・ホテルが仮予約させてもらえるのは半年前が多い。親密になると 1 年前から仮予約できる。
- ・九州では島原市の南風楼が一番人気。1 泊 2 食 7,000 円と安いのに懐石料理が出る。風呂も大きい。ロビーで卓球やバドミントン、太鼓の達人など学生が喜ぶイベントが開かれ、朝まで飲み会ができる。また、ホテル自体も、部屋もきれい。2 人の部屋に 6 人で泊まっている。
- ・夜の食事は、定食風は流行らない。バイキングは品数次第。朝食バイキングは喜ばれる。

⑤体育施設に求められる要素

- ・体育施設は 1 年前から抑えなければならない。1 年前から予約 OK な施設から埋まっていく。最低でも半年前に予約したい。
- ・合宿の受け入れに慣れていない市町村は、施設の貸切が難しく、市民向けに一部の枠を設けてくれと言われる。例えば「2 面だけ市民に確保してほしい」などと言われるが、その 2 面を取られると決まらない。体育館・コートを全て占有できるところから選ばれる。

- ・十分な広さがあって、全面を貸してもらえるかどうか条件。
- ・ボールなどの機材は学生が持っていく。ネットやポールは施設側が準備する必要がある。
- ・施設の料金は特に割引をする必要はなく、普通の料金を取っていい。

⑥グラウンド・ゴルフの合宿誘致について

- ・ヤングリゾートとしてもグラウンド・ゴルフのツアーを組みたいと思うが、どこに呼び掛ければいいかわからない状況。
- ・宿泊旅行の単価は学生よりも低いと聞いている。高齢者は年間に何回もツアーに行くので、単発が安くないと動いてくれない。送迎付き、グラウンド・ゴルフ付き、1泊2日4食（昼・夜・朝・昼）で、1万円をお願いしたいと言われるとのこと。
- ・ただ、6月の平日でも「梅雨時期でも適した屋根付きの施設がある」といった提案をできれば合宿を組んでくれる。閑散期に動いてもらえるのは嬉しい。
- ・ビーチボールバレーのサークルは聞いたことがない。情報は持っていない。

⑦自治体側の支援体制

- ・上天草市は延べ20泊以上の合宿に対して、1人1泊1,000円の補助が出る。1人1泊1,000円が補助金の相場。
- ・鹿児島市は50人以上の合宿に上限50万円まで補助が出る。大きなサークルは補助金の上限が大きい自治体の方が誘致しやすい。
- ・県単位でヤングリゾートに営業に来られるのは鹿児島と、宮崎県。市町村単位は島原市。
- ・熊本では天草市、熊本市、阿蘇市に合宿を組んでいる。阿蘇市は自治体というよりもホテルと仲良くしている。上天草市は運動施設を一年前から予約できる。
- ・最近、ホテルセキアが合宿を誘致している。
- ・壱岐は、島とく通貨という制度があり、1泊につき島でしか使えない通貨を3,000円分配してくれる。
- ・合宿に補助金が出るのが当たり前になっている。補助がないと誘致は厳しい。
- ・合宿期間中は施設を占有するので、その代りに別の施設を住民に開放するといったサービスをしてけるとありがたい。鹿屋市はそういう手配をしてくれる。

⑧玉名圏域定住自立圏の合宿誘致の可能性について

- ・テニスコートが8面あり、玉名温泉まで歩いて行ける蛇ヶ谷公園は、ロケーションや機能面でもテニスサークル・部活の合宿誘致先として有望。
- ・桃田運動公園総合体育館メインアリーナもバドミントンが10面組めるので十分な広さがある。
- ・まずは地域の担当者の方とお話をして、条件面を詰めていければと思う。

(2) グラウンド・ゴルフ合宿誘致

玉名圏域定住自立圏へのグラウンド・ゴルフ愛好者の誘致の可能性を把握するため、福岡県グラウンド・ゴルフ協会にヒアリング調査を実施した。

①ヒアリング対象

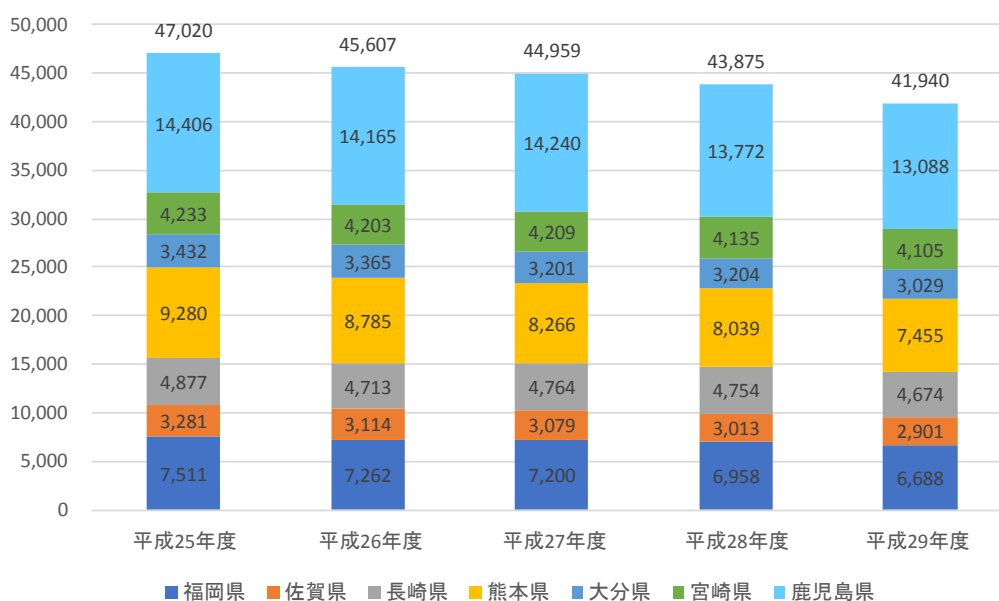
- ・福岡県グラウンド・ゴルフ協会（スポーツショップくが内）

②グラウンド・ゴルフの競技者層

- ・競技者は高齢者がほとんど。
- ・福岡県の中では、福岡市内よりも北九州、久留米などの郊外の方が練習環境が整っているため競技者が多い。街なかには練習場が少ない。
- ・特に、久留米市では筑後川沿いにグラウンド・ゴルフ場が5面整備され、環境が良いことから盛り上がっている。福岡県グラウンド・ゴルフ協会も久留米市に事務局がある。

参考：九州各県別の競技人口

- ・グラウンド・ゴルフ協会によると、平成28年度の九州の競技人口は41,940人で、平成25年度の47,020人から5,080人減少した。県別競技人口は、鹿児島県が最も多く、以下、熊本県、福岡県、長崎県の順で並ぶ。



③グラウンド・ゴルフの大会について

(大会の一般的なスタイル)

- ・ホテルから送迎してもらい、大会に出て、近くのホテルに宿泊・宴会をして帰るのが一般的なスタイル。グラウンド・ゴルフ以外の観光の要素はほぼない。
- ・熊本県グラウンド・ゴルフ協会が毎年参加者1,000人規模の大会を開催しており、福岡県協会からも50~100人が参加している。熊本県植木町、玉名市など、各地域持ち回りで開催してい

る。つい先日、沖縄県で開催された大会には福岡県から 50 人が参加した。

- ・ホテルの送迎バスが久留米まで迎えに来る。植木で開催された大会では、荒木観光ホテルから迎えに来た。100 人がマイクロバス 4、5 台に分乗して行った。
- ・大会参加費、送迎、宿泊、宴会込で 1 万円前後のケースが多い。
- ・役場がグラウンド・ゴルフ大会参加ツアーへの補助をしている事例はないと思う。
- ・会場は 1～2 ヶ月前までには予約する。

④グラウンド・ゴルフツアーについて

- ・大会以外の日常的なツアーについては、福岡県内のグラウンド・ゴルフ場には各自の車に乗り合っている。
- ・熊本県など遠方に行く場合は送迎が必要。自分達で車やバスを長距離運転するのは危険。
- ・グラウンド・ゴルフはしごはしない。3 時間位滞在する。2～4 ラウンド。

⑤情報伝達・ツアー誘客手法

- ・各地のホテルから、グラウンド・ゴルフ協会にツアーの案内が頻繁に来るが、個別に対応していると大変なのでほとんど見ていない。協会本部からも対応しなくても良いと言われている。
- ・自治体からの営業や誘致活動を受けたことはない。
- ・福岡のグラウンド・ゴルフ協会の会報誌を年に 4 回（1 月、4 月、7 月、10 月）制作している。写真撮影や記事の編集・デザインは株式会社ティーアンドイーという福岡市内の出版・制作・広告代理店に委託している。広告欄があり、広告出稿は喜んで受けると思う。
- ・協会の HP もあるが、会員はインターネットをほとんど見ていない層ではないか。

⑥玉名市・和水町・玉東町の可能性について

- ・送迎してくれるのであれば、日帰りでも宿泊でも参加したいが、せっかく遠方まで行くのであれば、日帰りのグラウンド・ゴルフツアーよりも宿泊が良い。
- ・熊本県北地域のグラウンド・ゴルフ場には行ったことがなく、よくわからないが、近いし温泉があるので興味はある。ぜひ協会会報誌にプロモーションしてもらえればと思う。

6. スポーツ合宿誘致先進事例調査

日本政策投資銀行が2015年2月に取りまとめた「スポーツツーリズムの展開」は、スポーツに関連する地域資源を活用した観光振興に戦略的かつ重点的に取り組んでいる地方公共団体に対して、その取り組み内容や今後の方針等について調査を実施している。この中で、アマチュアまで対象としたキャンプ・合宿誘致に取り組んでいる地域として、鹿児島県及び宮崎県が取り上げられている。そこで、鹿児島県及び宮崎県の状況を整理するとともに、熊本県内の取組状況についてインターネットによる検索結果から整理する。

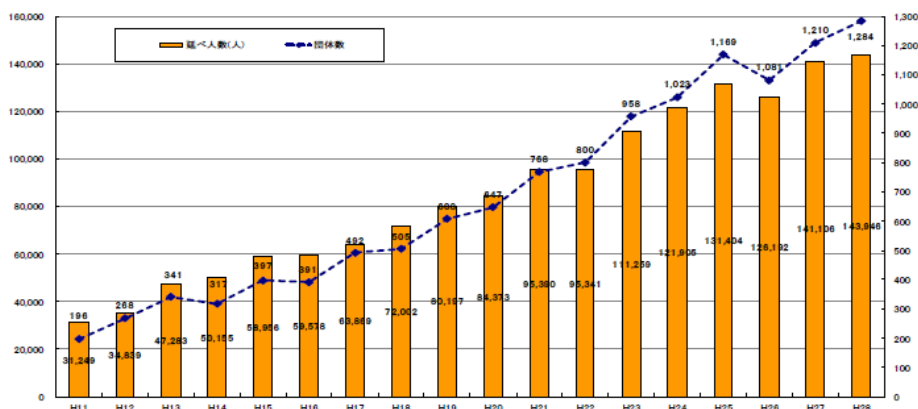
(1) 鹿児島県の状況

日本政策投資銀行の報告書及び「平成28年度鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査結果」に基づき、鹿児島県におけるスポーツ合宿の受け入れ状況等について整理する。

① 受け入れ人数の推移

- 平成28年度に、鹿児島県内でスポーツキャンプ・合宿を行った県外からの延べ人数は143,946人で前年度比2.0%増加、実人数は32,383人で同2.9%増加、団体数は1,284団体で同6.1%増加（74団体増）し、延べ人数、実人数、団体数いずれも過去最高を更新。
- 前年度と比較して、熊本地震の影響により5月はスポーツキャンプ・合宿が落ち込んだものの全国規模の大学ソフトボール大会が開催されたこと等により大学生団体が増加したこと、大島地域での社会人（実業団）団体による春季キャンプが増加したこと等により、全体の延べ人数、実人数、団体数いずれも増加。

年度別推移



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
延べ人数(人)	31,249	34,839	47,283	50,155	58,956	59,578	63,869	72,002	80,197	84,373	95,390	95,341	111,259	121,905	131,404	126,192	141,106	143,946
対前年比		11.5%増	35.7%増	6.1%増	17.5%増	1.1%増	7.2%増	12.7%増	11.4%増	5.2%増	13.1%増	0.1%減	16.7%増	9.6%増	7.8%増	4.0%減	11.8%増	2.0%増
対前年増減数		3,590	12,444	2,872	8,801	622	4,291	8,133	8,195	4,176	11,017	△49	15,918	10,646	9,499	△5,212	14,914	2,840
実人数(人)	4,292	5,595	7,360	7,651	9,297	9,490	12,122	13,105	15,683	16,341	19,470	20,120	24,999	25,659	28,177	26,695	31,464	32,383
団体数	196	268	341	317	397	391	492	505	608	647	768	800	958	1,023	1,169	1,081	1,210	1,284

- ・市町村別の延べ人数をみると、鹿屋市が最も多く 20,741 人、次いで志布志市の 16,273 人、奄美市の 11,987 人。前年度と比較して、延べ人数が最も増加したのは南九州市で、主に全国規模の大学ソフトボール大会が開催されたことにより、大学生の団体が増加。

市町村別延べ人数

(単位：人、%)

順位 (昨年)	市町村名 (昨年)	延べ人数		構成比		対前年度	
		(昨年)	(前年)	(昨年)	(前年)	増減	増減率
	計	143,946	(141,106)	100.0	(100.0)	2,840	2.0
1	(1) → 鹿屋市	20,741	(22,871)	14.4	(16.2)	Δ 2,130	Δ 9.3
2	(2) → 志布志市	16,273	(17,403)	11.3	(12.3)	Δ 1,130	Δ 6.5
3	(7) ↗ 奄美市	11,987	(9,708)	8.3	(6.9)	2,279	23.5
4	(3) ↘ 薩摩川内市	11,695	(11,864)	8.1	(8.4)	Δ 169	Δ 1.4
5	(8) ↗ 南さつま市	11,181	(9,428)	7.8	(6.7)	1,753	18.6
6	(5) ↘ さつま町	10,403	(9,839)	7.2	(7.0)	564	5.7
7	(4) ↘ 鹿児島市	9,683	(10,018)	6.7	(7.1)	Δ 335	Δ 3.3
8	(6) ↘ 日置市	9,448	(9,710)	6.6	(6.9)	Δ 262	Δ 2.7
9	(9) → 霧島市	7,261	(7,782)	5.0	(5.5)	Δ 521	Δ 6.7
10	(10) → 天城町	6,651	(5,796)	4.6	(4.1)	855	14.8
11	(11) → 指宿市	4,612	(5,081)	3.2	(3.6)	Δ 469	Δ 9.2
12	(12) → 肝付町	4,046	(4,928)	2.8	(3.5)	Δ 882	Δ 17.9
13	(13) → 出水市	3,661	(4,257)	2.5	(3.0)	Δ 596	Δ 14.0
14	(29) ↗ 南九州市	3,537	(39)	2.5	(0.0)	3,498	8,969.2
15	(14) ↘ 阿久根市	2,711	(2,363)	1.9	(1.7)	348	14.7
	その他	10,056	(10,019)	7.0	(7.1)	37	0.4

②鹿児島県の取組

(経緯)

- ◇温暖な気候や食、温泉といった資源を活かし、プロスポーツや実業団、大学等のスポーツキャンプ・合宿誘致に取り組んでいる。
- ◇平成 18 年度に誘致から歓迎までを官民一体となって取り組むため、「スポーツキャンプ対策県連絡会」と「スポーツ対策地域連絡会（7 連絡会）」を設立。県連絡会が総合窓口業務や県外への誘致家有働を担い、地域連絡会が各エリアの情報収集や各市町村との連携等を担う
- ◇平成 26 年度には、県観光課内に「プロスポーツ等振興班」を設置。「鹿児島ユナイテッド FC」の Jリーグ昇格に向けた取組の支援や 2020 年東京オリンピック事前合宿など各種キャンプや合宿の誘致対策等を推進。

(ターゲット)

- ◇大学生の合宿（同好会・サークル）
- ◇韓国のプロスポーツチーム（野球、サッカー）

(主な取組)

- ◇福岡・関西（大阪・京都）の学生を対象とした合宿セミナー、視察ツアー
 - 合宿セミナーでは市町村、宿泊・運動施設の関係者が参加し、受け入れ体制の状況や支援制度等を説明。
 - 視察ツアーでは、セミナー参加者を対象に福岡の学生はバスで鹿児島・北薩地域を、関西の学生はフェリーさんふらわあで大隅地域を視察。

◇「鹿児島スポーツ合宿ガイド」の作成

→運動施設情報だけでなく、周辺の観光情報、宿泊施設情報、市町村の助成制度等を紹介した冊子。誘致活動に活用。

◇「鹿児島県スポーツキャンプ・合宿状況調査」の実施

→県内のスポーツキャンプ・合宿の実施状況を把握するために、毎年度調査を実施。合宿参加者数（実人数、延べ人数）、や団体数を市町村別、地域別に整理。

◇韓国プロ野球チームへのキャンプ誘致セールス活動

③鹿屋市の取組

玉名市と人口規模が比較的近く、また、定住自立圏の中心都市であり、定住自立圏の取組においてもスポーツ合宿等の誘致を掲げている鹿屋市の取組について整理する。

鹿屋市では、競技者の競技力向上と地域活性化を目的としたスポーツ合宿に積極的に取り組んでおり、スポーツ合宿やスポーツ大会の受け入れを行う組織として、鹿屋市と民間事業所等が協力し、「かのやスポーツコミッション」を立ち上げている。

また、宿泊、食、練習施設の確保、練習試合の相手、雨天時の対応など、様々な相談に対応するため、「スポーツ合宿相談シート」を準備し、開庁日の午前8時30分から午後5時までの時間、FAX・MAIL・TELで相談の受け付け、対応をしている。

支援制度としては、「鹿屋市スポーツ合宿等誘致推進奨励金制度」を設けている。これは、合宿を実施する県外の高等学校又は大学の団体を対象に、合宿経費の一部を助成するもので、概要は下表のとおりである。

■鹿屋市スポーツ合宿等誘致推進奨励金制度の概要

対 象 者	県外にある高等学校又は大学の学生で構成される運動系若しくは文化系の団体
宿 泊 数	宿泊数が連続2泊以上で、かつ、延べ宿泊数が30泊以上
宿 泊 先	鹿屋市内の宿泊施設（ホテル、旅館等で教育施設に付随する施設やキャンプ場等は除く）
目 的	大会への参加が目的ではないこと
奨 励 金 額	奨励金額は、延べ宿泊者数に1,000円を乗じて得た額で、上限は20万円。宿泊に係る奨励金額が上限に達しなかった場合は、バス・レンタカー借上げ料を加算することができる。

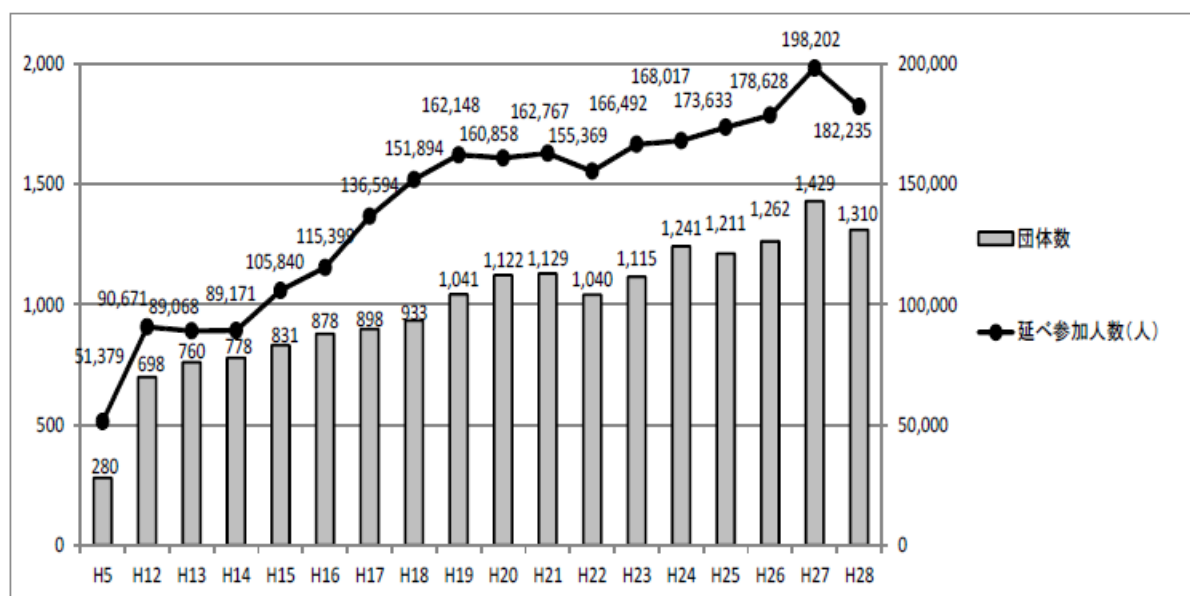
この他、市内の運動施設や宿泊施設、観光情報、アクセス、奨励金制度などをまとめた「スポーツ合宿ガイド KANOYA」を作成し、HP上で公表している。なお、HPでは、施設情報のほか、スポーツ合宿の様子を年度別に紹介したり、鹿屋市のPR動画を閲覧したりすることもできる。

(2) 宮崎県の状況

日本政策投資銀行の報告書及び「平成 28 年度宮崎県スポーツキャンプ・合宿の受け入れ実績の推移」に基づき、宮崎県におけるスポーツ合宿の受け入れ状況等について整理する。

①受け入れ人数の推移

- ・年度前半は、熊本地震の影響により、団体数、参加人数、延べ参加人数いずれも減少したが、年度後半は前年並の実績となり、各項目いずれも前年度に次ぐ過去 2 番目。
- ・熊本地震の影響で減少した層としては、安全対策等に敏感であると考えられる学生の減少幅が大きい。
- ・国内団体の受け入れ延べ人数は減少したが、海外団体の受け入れ延べ人数は、ハンファ・イーグルスの秋季キャンプ実施や、韓国の高校・大学野球の合宿などが行われたため、5,645 人増加。



- ・宮崎県では、市町村別の受け入れ人数等については公表していないとのことであったが、県担当課にて確認（平成 30 年 3 月 13 日）したところ、県庁所在地である宮崎市を筆頭に、綾町、延岡市、都城市で受け入れが多いとのことであった。

②宮崎県の取組

(経緯)

- ◇新婚旅行ブームが過ぎ、県外観光客数が減少傾向となったことを踏まえ、昭和 61 年に宮崎市旅館組合と宮崎県観光協会との間で、読売巨人軍等プロ野球のキャンプ地にも選ばれる宮崎の温暖な気候を活用したスポーツによる観光振興を図る「スポーツランドみやざき構想」の検討が開始。
- ◇平成元年に宮崎コンベンションビューロー内にスポーツランド部会を設置、平成 8 年度には専任事務局体制を持つ「スポーツランドみやざき推進協議会」を設立、平成 16 年度には「スポー

ツランドみやざき推進協議会」事務部門を「みやざき観光コンベンション協会」に統合、一方、県も平成14年度に県観光・リゾート課にスポーツランド推進担当を設置。民と官の双方でスポーツツーリズムの推進体制を順次強化。

- ◇宮崎県の総合長期計画や観光振興計画においても、「スポーツランドみやざき」の推進が明記され、スポーツツーリズムが観光振興施策の大きな柱に位置付けられた。

(ターゲット)

- ◇プロやアマチュアの野球、サッカー、陸上等の屋外競技
- ◇武道、バレー等の屋内競技
- ◇サーフィン等のマリンスポーツ
- ◇韓国、中国、台湾からのゴルフ客

(主な取組)

- ◇「宮崎県スポーツキャンプ・合宿ガイド」の作成
→競技別の運動施設情報だけでなく、宿泊施設、医療機関の情報がエリア別に分かる形で紹介した冊子。
- ◇「スポーツ合宿受け入れ支援事業」の実施
→宮崎県内で初めて合宿するチームを対象に、最大で10万円を助成。概要は、下表のとおり。

■宮崎県スポーツ合宿受け入れ支援事業の概要

対 象 者	宮崎県で初めて合宿を実施する県外のアマチュアスポーツ団体（プロを除く）
宿 泊 数	延べ宿泊数が30泊以上
宿 泊 先	宮崎県内の宿泊施設を理容（ホテル及び旅館）
目 的	大会への参加が目的ではないこと
助成金額	一人一泊につき500円を助成。延べ宿泊数×500円で、上限は10万円

- ◇「スポーツメディカル支援事業」の実施
→宮崎県内でスポーツキャンプ・合宿を実施するチーム・団体に対し、宮崎大学医学部付属病院の協力のもと、スポーツメディカル機器を使ってメディカル検査を受信した場合に、その利用料の一部を補助（自己負担は3割）。
- ◇「県外からのスポーツキャンプ・合宿の受け入れ実績」の公表
→毎年度、県外からのスポーツキャンプ・合宿の受け入れ実績を公表。
- ◇キャンプ・合宿の送客を得意とするエージェントへのセールスやキーパーソン訪問

■スポーツメディカル支援事業の補助内容（都城市 HP より）

検査内容と料金のご案内

※料金は1人当たりの料金になります。

検査番号	検査内容	料金
1	身体測定 (身長、体重、BMI、体脂肪率、血圧、心拍数) 体組成を正確に測定します。身長、体重、体脂肪率、筋肉量、基礎代謝量等の測定が可能です。肥満判定の指標に、リハビリ評価の指標に、アスリートの体組成管理などに活用できます。	利用料金 1,000円 補助金額 (7割を県が補助) -700円 負担金額 300円
2	整形外科的評価 (形態測定、関節弛緩性、筋緊張) 基本的に道具や機械は使わずに、手技と医師の指示により関節を動かして行い、関節の動きや筋肉の柔軟性、潜在的な痛みなどをチェックします。	利用料金 (3項目合わせて) 2,000円 補助金額 (7割を県が補助) -1,400円 負担金額 600円
	筋力測定 (K-Wテスト) 7種類の腹筋・背筋の筋力のテストをして、瞬発力や筋持久力をはかります。	俊敏性測定 (ステップテスト) 30秒間の前後・左右・斜めのステップをし、何回ステップが踏めるかを測定します。
3	筋力測定 膝関節を中心に各部位の筋力を計測・解析し、筋力、瞬発力、持久力、柔軟性を分析・評価します。	パワー測定 (最大無酸素パワー) エルゴメーターを用いて3回のペダリングの最高回転数と負荷から最大無酸素パワーを求め、瞬発力をはかります。
	呼吸機能検査 肺活量や、息をはく速さをはかり、肺の働きを調べます。呼吸器疾患の早期発見にも役立ちます。	骨量測定 (超音波) 骨密度を測定します。将来の骨折リスクを判定でき、予防のために注意することができます。
	高精度筋肉量測定 部位ごとに、それぞれの左右の筋量を高精度に測定します。筋肉の絶対量や左右の筋肉バランスがわかります。	利用料金 (5項目合わせて) 2,000円 補助金額 (7割を県が補助) -1,400円 負担金額 600円
4	運動負荷試験 (負荷心電図検査装置、呼気ガス代謝モニター) 運動中の心電図、血圧、呼吸中の酸素、二酸化炭素の濃度を計測します。心肺機能や持久力の強さを知ることができます。	利用料金 2,000円 補助金額 (7割を県が補助) -1,400円 負担金額 600円
5	光学式三次元動作解析装置 さまざまなスポーツ動作における関節負荷や運動を計測します。フォームのチェックやスポーツ障害のリスク評価やパフォーマンス向上をサポートすることができます。	利用料金 3,000円 補助金額 (7割を県が補助) -2,100円 負担金額 900円

実際に検査を受けたアスリートも大絶賛!!

自分のフォームを客観的に、詳しく見ることができて勉強になった!

女子ゴルファー
柏原 明日架選手 (日章学園卒)

予想以上にふくらはぎの筋肉がなかったの
 今後の練習に生かしていきたい!!

女子ゴルファー
永峰 咲希選手 (宮崎日大高卒)

写真提供:公益財団法人 日本ゴルフ協会

写真提供:公益財団法人 日本ゴルフ協会

③延岡市の取組

人口規模が比較的近く、また、定住自立圏の中心都市であり、定住自立圏の取組においてもスポーツ合宿等の誘致を掲げている延岡市の取組について整理する。

延岡市では、総合計画に「アスリートタウンづくり」を位置付け、①大会・合宿の充実、②推進体制の充実を図ることとしている。

その取組の一環として、九州大会以上の規模のスポーツ競技大会出場への出場補助金、延岡市内でスポーツ合宿を行う個人・団体への合宿補助金、東九州大会の規模以上のスポーツ競技大会開催への開催補助金の交付を行っている。

また、延岡市を中心市として県北の8市町村（延岡市、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）と定住自立圏を形成し、その中の6市町村（延岡市、日向市、門川町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村）とともに、スポーツ合宿の共同誘致を進めている。具体的には、「スポーツ合宿地検索」ホームページ※を作成し、キャンプ場や社会教育施設を含めた宿泊施設（公営・民営）、観光情報などを共同して情報発信を行っている。

※定住自立圏構想スポーツ合宿共同誘致「スポーツ合宿パラダイス」

<http://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/sportscamp/index.html>



■アスリートタウン延岡合宿誘致補助金の概要

対象者	延岡市で、スポーツ技術を向上させるために行う合宿で、延岡市民以外の者で組織するスポーツ団体。ただし、市外に在住する者を招待し、合宿を行う場合は、市内に在住する個人または団体。
宿泊数	延べ宿泊数が50泊以上
宿泊先	延岡市内の宿泊施設
補助金額	宿泊した延べ人数に1泊当たり500円を乗じて得た額(上限なし)。 ただし、ホテル・旅館以外の公営または企業研修所等の宿泊施設に宿泊する場合は1泊当たり300円を乗じて得た額(200,000円を上限)

(3) 熊本県内の状況

熊本県内の取組事例として、インターネット検索で該当した上天草市、八代市、山鹿市について整理する。

①上天草市

- ・市内の体育施設、スポーツ等合宿受け入れ施設（宿泊施設）のほか、市の支援制度を紹介した「スポーツ合宿ガイドブック～合宿のすすめ～」を作成。
- ・スポーツ合宿等を実施する団体に対して助成を実施。
- ・スポーツ施設や宿泊施設の相談のほか、合宿の合間に体験したいことなど、可能な範囲内でプランをコーディネート。

■上天草市合宿等誘致助成金の概要

対 象 者	市内のスポーツ施設等を利用して練習し、かつ、市内の宿泊施設に宿泊するものであること。
宿 泊 数	延べ宿泊数が 20 泊以上
宿 泊 先	上天草市内の宿泊施設。ただし、教育施設に付随する施設、キャンプ場等の施設は対象から除く。
目 的	大会への参加が目的ではないこと
補 助 金 額	各 1 団体 1 回の合宿につき、延べ宿泊者数に 1,000 円を乗じて得た額。上限は 10 万円。

②八代市

- ・市内でスポーツ・文化活動等に係る合宿を行う団体に対して助成を実施。

■八代市合宿応援助成金の概要

対 象 者	大学生以上の方で構成されるスポーツ・文化活動を行う団体で、市内のスポーツ・文化施設等を利用し、かつ、市内の宿泊施設に宿泊するものであること。
宿 泊 数	延べ宿泊数が 20 泊以上
宿 泊 先	八代市内の宿泊施設。
補 助 金 額	各 1 団体 1 回の合宿につき、延べ宿泊者数に 1,500 円を乗じて得た額。上限は 10 万円。

③山鹿市

・市内でコンベンション・合宿を開催し、市内に宿泊する団体に対して助成を実施。

■平成 29 年度山鹿市観光客誘致対策事業 コンベンション・合宿 宿泊費助成

対 象 者	山鹿市内で開催するコンベンション・合宿で、市内に宿泊する団体で、平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 28 日の間の宿泊するもの。ただし、8 月 12 日～16 日までは除く。
宿 泊 数	延べ宿泊数が 30 泊以上
宿 泊 先	山鹿市内の宿泊施設。
補 助 金 額	各 1 団体 1 回の合宿につき、延べ宿泊者数に 500 円を乗じて得た額。 上限は 25 万円。

7. 考察

今回の調査結果を踏まえ、玉名定住自立圏におけるスポーツ合宿誘致に向けた方向性について整理する。

(1) 玉名定住自立圏の優位性について

玉名定住自立圏の優位性を整理すると、以下の点が挙げられる。これらの優位性をスポーツ合宿誘致に活かしていく必要がある。

○福岡・熊本都市圏からの交通アクセスが良い

1 つ目に、九州を代表する都市である福岡都市圏、また、熊本都市圏からの交通アクセスの良さが挙げられる。定住自立圏内には九州自動車道菊水 IC 及び九州新幹線の新玉名駅がある。福岡市内から玉名市内までは、九州自動車道経由で約 1 時間半、新幹線では約 40 分、熊本市内から玉名市内までは、国道経由で約 40 分、新幹線で約 10 分となっており、福岡市内、熊本市内から 1 時間半以内でアクセスできる。

○温泉及び宿泊施設が充実している

2 つ目に、玉名市には合宿拠点として活用可能な温泉及び宿泊施設が存在する。宿泊施設については、定住自立圏内の現状として 1 施設 50 人以下の少数の団体、サークルであれば受け入れ可能な状況であるが、それ以上の人数となると玉東町には宿泊施設はなく、また、和水町も限られているため、各施設が連携するか、玉名市内の各旅館・ホテル等で受け入れる必要がある。玉名市温泉旅館協同組合加盟施設やビジネスホテル等を合わせると最大 1,000 人程度の収容能力がある。

○体育施設が近接し、かつ、同一機能の施設が複数ある

3 つ目に、体育施設同士が近接しており、しかも同一機能の施設が複数ある。定住自立圏内の各施設は、いずれも新玉名駅から約 10km 圏内に位置している。施設間は、ほぼ 30 分圏内で移動が可能である。加えて、ある施設が利用できないとしても、それを代替する施設が各市町にそれぞれあることから、相互に補完しあうことが可能である。

(2) 基盤整備について

スポーツ合宿誘致に向けては、受け皿となる体育施設が適切に維持管理されていることが不可欠である。定住自立圏内の各施設は、昭和 50 年～60 年代にかけて建設されたものが多く、供用開始から約 30 年を経過しており、大規模修繕の時期を迎えている。安全に、安心して利用してもらうためにも、日常の維持管理はもちろんのこと、定期的な修繕を行っていく必要がある。加えて、誰もが利用できるように、バリアフリー化を進めていくことが望ましい。

また、スポーツ合宿者の多くは、各施設間の移動を自家用車かバスで行っている。そのため、駐車スペースを確保しておくことが望ましい。

(3) 受け入れ体制について

先進事例等に見るように、行政と体育協会、観光協会等、官民が協力した体制を構築した上で、旅行代理店等と連携し、合宿を誘致することが考えられる。

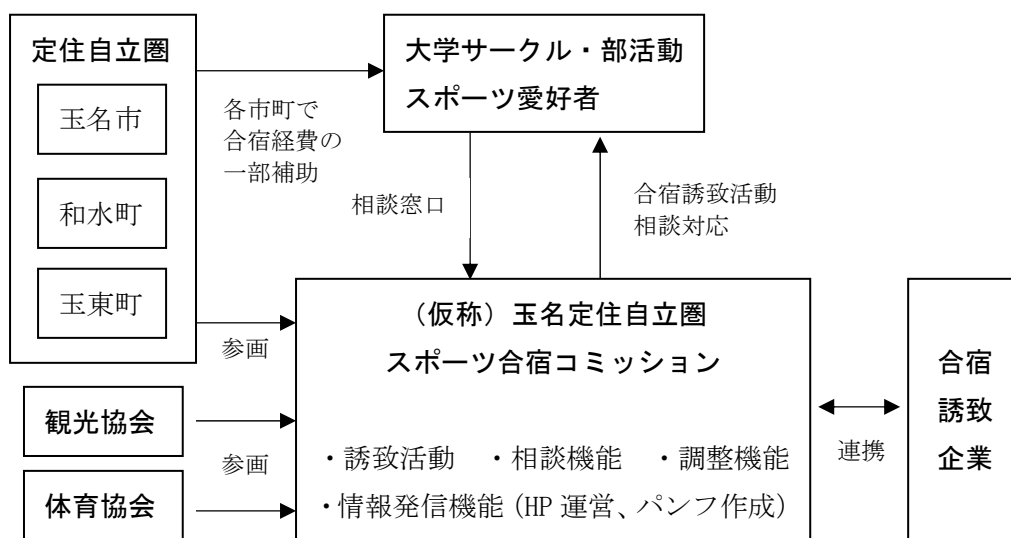
受け入れに向けては、先進事例からは、①体育施設や宿泊施設、食事、観光等に対する相談機能、②各施設との調整機能、③合宿経費の一部を助成する支援制度、④施設情報や観光情報、支援制度などを紹介する情報提供機能といった大きくは4つの機能・制度を整備することが考えられる。

今回調査した事例では、各市町がそれぞれ①～④の内容について取り組んでいるパターンが主であったが、定住自立圏として共同誘致を進めていく上では、延岡市の事例に見るように④について共通のホームページを立ち上げて紹介することが考えられる。また、施設・優遇制度の紹介パンフレット等も同様に共通で作成することが考えられる。

加えて、優位性を活かすという点では、②各施設との調整機能についても共通で取り組むことが望ましい。合宿希望者側、また、合宿コーディネート企業側ではできない取組であり、施設キャパシティの関係等により単独市町では受け入れが難しくても、定住自立圏内の施設間の融通を利かすことで受け入れが可能ということも考えられる。

③については、「宿泊した延べ人数に1泊当たりの補助金額を乗じた額」というのが、各自治体で採用されている。合宿誘致企業のヒアリングでは、「合宿に補助金が出るのが当たり前であり、補助がないと誘致は厳しい」との指摘もあり、重要度は高い。

上記を踏まえ、受け入れ体制のモデルを下記に示す。



(4) 主要スポーツの合宿誘致に向けて

ヒアリング結果から、玉名定住自立圏における合宿誘致に向けた主要スポーツとして、テニス、バドミントン、グラウンド・ゴルフを掲げる。これらのスポーツの合宿誘致に向けたポイントを整理すると以下の通りである。

スポーツ	ターゲット	情報発信	ツアー（商品）
テニス・バドミントン	福岡県内、熊本県内の大学の部活・サークル	合宿誘致企業（旅行代理店・営業マン）	<ul style="list-style-type: none"> （人数） ・30～50人規模 （価格面） ・ホテルであれば1泊2食で7,000円が相場。 ・旅館であれば貸し切りができて、7,000円以下 （サービス面） ・分泊ではなく、1つの施設に1つのサークルを収容するのが基本 ・ホテルから運動施設まで、ホテル側の無料送迎 ・朝まで宴会が可能 （運動施設） ・1年前から予約可能。最低でも半年前に予約 ・十分な広さがあり、全面貸しが可能
グラウンド・ゴルフ	福岡県内、熊本県内、鹿児島県内の愛好者	福岡県協会 会報誌の広告欄・パブリシティ	<ul style="list-style-type: none"> （人数） ・50～100人規模（熊本県グラウンド・ゴルフ協会は、毎年1,000人規模の大会を開催） （価格面） ・大会参加費、送迎、宿泊、宴会込みで1万円前後 （サービス面） ・福岡等から宿泊施設、運動施設までの送迎バス ・会場貸し切りで宴会が可能 （運動施設） ・1～2か月前までに予約

テニスやバドミントンの大学の部活・サークルについては、既に連絡先等を把握し、関係を築いている合宿誘致企業（旅行代理店）を通して誘致を図ることが考えられる。一方、グラウンドゴルフ愛好者についてはグラウンドゴルフ協会を通じて定期的な情報提供がなされており、それを活用して誘致を図ることが考えられる。

ツアー商品については、まず、大学の部活・サークルについては、宿泊施設は1泊7,000円以下、1サークル1施設、朝まで飲み会が可能、ホテルから運動施設までの無料送迎が条件となる。また、運動施設についても、1年前から予約可能で、かつ、全面貸しが条件となる。運動施設の料金については、割引など特別に配慮する必要はない。

一方、グラウンド・ゴルフについては、宿泊施設は1泊10,000円前後でこれに大会参加費や宴会料、出発地からホテル、運動施設までの送迎込みが条件となる。運動施設については、1～2か月前までに予約可能が条件となる。こちらも、運動施設の料金については、割引など特別に配慮する必要はない。

合宿誘致の受け入れ施設側のメリットとしては、閑散期の施設の有効活用ということが挙げられ、特にグラウンド・ゴルフは通年楽しめるスポーツであり、閑散期対策としての期待がある。また、観光や飲食等の消費による地域経済への波及効果も期待できる。まずは、モデル的に実施し、評価・検証を踏まえた上で、本格実施に移行するかを判断するという進め方が望ましい。

いずれにせよ、合宿専門の旅行代理店や特定スポーツの協会との意見交換ならびに営業活動を行う必要がある。

(5) その他スポーツの合宿誘致に向けて

①陸上競技（マラソン）

- ・平成30年の大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」の放映を見据え、金栗四三生家や大河ドラマ館を訪れる陸上・マラソンの愛好家が増加することが予想される。
- ・『玉名市・和水町・南関町大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」地域振興協議会』との連携のもと、和水町の生家から玉名高校や、玉名北高等小学校（現南関町）までの通学路など、金栗四三に因んだジョギングコースの発掘・整備により、合宿需要を取り込むことが充分可能と考えられる。
- ・また、オンロードやオフロード（トレイル）のランニングと温泉、食（金栗四三が好んだ大福や豚肉等）、観光を組み合わせた「マラニック」のルートを開拓できれば、消費の裾野を拡大できる。例えば、生家と三加和温泉、八つの神様を組み合わせた10km前後のコースなどが有望と考えられる。

②ビーチボールバレー

- ・福岡県協会がある。福岡県の大会には、広島県や奈良県といった県外からの参加者もいる。
- ・3市町の中では、玉東町で盛んであり、また、玉名市においても企業がビーチボールバレー大会を開催している。
- ・スポーツ合宿誘致企業へのヒアリングでは、ビーチボールバレーのサークルについて情報を持っていないとのことであったため競技人口はまだ少ないと推測できる。

③その他

- ・大学の各部活・サークルは、既に連携している旅行代理店が存在しており、その部活・サークルの役員等が代替わりをしたとしても、フォローをしている状況にある。そのため、大学の部活・サークルの合宿誘致に向けては、競技種目に応じた旅行代理店の発掘と、先に上げたような組織による営業活動を行っていく必要がある。

